

令和6年1月18日

令和5年度 松山デザイナー専門学校
学校関係者評価委員会報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山デザイナー専門学校 学校関係者評価委員会は「令和5年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和5年度学校関係者評価委員会

委員	平山 誠	(株式会社アトリエ き・な・こ 代表取締役)
	池内 俊理	(JOURNAL STANDARD 松山店 店長)
	中谷 恭治	(愛媛県情報サービス産業協議会 副会長)
	唐崎 秀樹	(愛媛信用金庫 地域事業振興部推進役)
	若林 綾	(ファッションクリエイター学科 在校生保護者)
	宮内 良子	(ファッションビジネス学科 在校生保護者)
	八塚 千穂	(Webクリエイター学科 在校生保護者)
	宮木 加代	(松山女学院専門学校 卒業生)
	高田 規子	(松山女学院専門学校 卒業生)

敬称略

教職員	松岡 由紀子	(学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
	室 利幸	(松山デザイナー専門学校 校長)
	重信 克也	(学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
	大野 幸美	(ファッションクリエイター学科 学科長・ファッション ビジネス学科 学科長)
	高橋 良昌	(Webクリエイター学科 学科長)
	田坂 麻衣子	(学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部 教務課長)
	東田 由美子	(学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部)

2. 実施内容

- 開会、出席者紹介、校長挨拶
- 自己評価報告 (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境

- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・学生が松山にいながら東京・大阪の現場、実践に近い授業等を受講できる機会を非常勤講師の採用等により今後も積極的に確保していく。
- ・より専門性の高い専任教員の増員を計る。
- ・2022年度校名・学科編成変更により、完成年度を迎えていない学科もあるので、学修成果に関しては過渡期である。
- ・実力が問われる世界でもあり、社会に出て通用するカリキュラム編成、人材育成に取り組む。

<学修成果>

- ・ファッション系の資格試験については、全国平均より高い合格率を維持しており、引続き早い段階から計画的に小テストや模擬試験など資格試験対策を実施し高い合格率を目指す。
Webクリエイター学科についても、昨年度より合格率が向上している。
- ・就職率は、ファッションビジネス学科、Webクリエイター学科共に100%を達成している。
- ・令和6年2月3日に、伊予鉄高島屋で作品の発表会として「松山コレクション」を開催する。

<学生支援>

- ・就職課と教員が連携して、1年生から就職に対する意識付けする活動に取り組んでいる。

<教育環境>

- ・1年生全員にMacを無償で貸与し、館内全フロアをWi-Fiがつながる環境にしている。今後も学生がより効率的な学習活動ができるようにしていく。
- ・ファッションクリエイター学科では、今年度よりアパレルCAD・3Dモデリングを導入した。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

（委員からの質問）

- ・退学するタイミングと、退学率低減の為にコミュニケーションをどう図っているのか教えてほしい。

（回答）

- ・退学理由は、入学直後考えていた事と方向性が違うとの理由によるものである。
- ・退学率低減については、学校の責任と考えており3%以内となるよう努力していく。

(ファッション) 遅刻や学業の遅れにより自分の能力の限界を感じている学生には、補習の実施や個別に保護者も含めて話し合いの機会を設ける等対応している。

(Web) 連絡のない欠席については、保護者への連絡も交えてフォローしている。

(委員からの意見)

- ・18才でやりたいことが決まっている学生は少ない。そのミスマッチを指導して欲しい。

(委員からの意見)

- ・子供から学校の様子はよく聞いている。実際に製作する様子を観て、楽しそうに学んでいる姿が見られて良かった。
- ・離れて生活している保護者に、SNS・HP等を通じて授業の様子を発信して頂けると有難い。

(回答)

- ・学校でのイベントや学習成果をあらゆる機会を通じて SNS・HP等で情報発信していけるように努力していく。

(委員からの質問)

- ・どんな業種へ就職しているか。

(回答)

- ・ファッションビジネス学科は、スタイリスト事務所・販売系が多く、今年度はイッセイ・ミヤケにも内定を頂いた。
- ・ファッションクリエイター学科は、来年度完成年度になりパタンナーやデザイナーでの就職を目指している。
- ・Webクリエイター学科では、大手のWeb会社や県内・県外のWeb関連の就職先を斡旋している。

(委員からの意見)

- ・長く洋裁の仕事をしているが、ここ10年で縫製工場が潰れていき、縫う人がいない状況になっている。その中で現役の70~80才代の縫製技術を若い人達に継承できないかと考えている。卒業生等、煌びやかな世界を経験してからでも、技術を生かす場に戻って来てくれる人がいたら紹介して欲しい。

(委員からの質問)

- ・学校の理念を教えて欲しい。

(回答)

- ・「きびしく、やさしく、ていねいに」をスローガンとし、豊かな教養と高度な専門性を持った人材育成を教育理念とし、特に丁寧にとという事にこだわりを持って指導している。

以上